

REPORT

おががまプレーパーク



プレーパークコラム 遊びが生まれる時

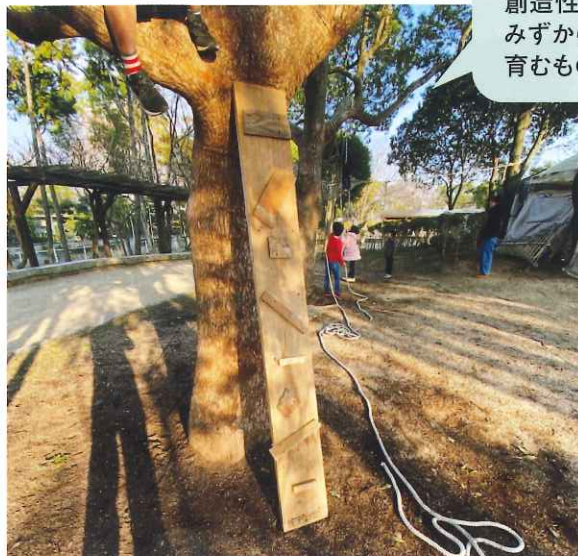
頭の中に、チャレンジしたくなる何かアイデアが浮かんだら、それをやってみるのが「遊び」。

- ・ちょっと難しいけど「できるかもしれない」
 - ・他の人が誰もやっていない
 - ・自分の世界を表現したい
- 子どもの日常は「チャレンジ」で溢れている。

「ハシゴ」

「ハシゴをつくろー」と声が聞こえてきました。
その時は長い木もなく、つくるのは難しいだろうなーと勝手に思っていました。少し経って様子を見にいくと、木片を足場板に打ち付けていました。できたのが写真のはハシゴ。
大人の経験値や知識なんかよりも、子どもたちには広い世界があるようです。

マッキー



創造性は
みずから
育むもの。

「エレベーター」

男の子とペンキで、作業台に色を塗っていました。パレットがなかったので、かわりに紙をパレットにして使っていました。色塗りも飽きてきた時、「紙もってちょうだい!!」と男の子。紙を持っていくと、「このサイズに切って」と言われたので、「何つくるん?」と聞くと「エレベーター!!」と。言われたサイズに切って渡すと、男の子は紙に数字を書いていき、東屋の柱に綺麗に貼りつけていきます。ここで僕は気づきました。想像力でなんでもエレベーターになるということ。この後も色々な子どもたちが柔らかい想像力で、「エレベーターだ!!」と色々な遊び方をしていました。

マッキー



大人には
予想外の
見立ても。

「いいこと思いついた!!」

べっこうあめをつくるために、
小学生2人が火を起し始めました。
しかし、火はなかなか起きません。
ふたりとも悩んでいる様子。
その時、最高の表情で「いいこと思いついた!!」。
この瞬間を大切にしていきたいです。

マッキー



ひらめき
たくさん
詰まってる。

「道路がキャンパスになった日」

道路が巨大なキャンパスになりました。時間と空間があると、自由な発想が少しずつ広がっていきます。

普段は道路に落書きを해서는いけません、この日は許可をいただき、思い思いにチョークを使いました。

線を描く、絵を描く、模様をつける、チョークを粉にして手にまぶす…。時間が終わりに近づくと、水をかけてブラシでこすって、きれいにするのもまた楽しい。

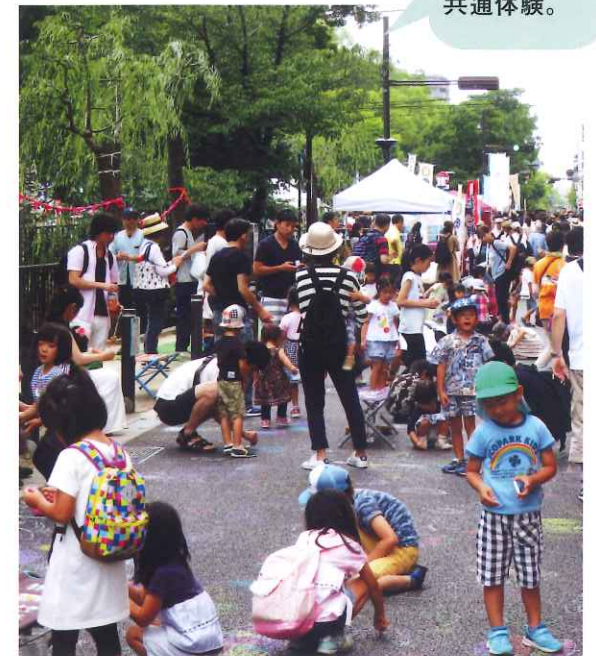
つつち〜



目的は
なくても
いい。



昔よくやった、
大人も夢中の
共通体験。



「一人の時間」

大型滑り台の下が部屋になりました。まわりに邪魔されずに読書に没頭できる隠れ家です。
一人で夢中になって何かに打ち込んだり、考え事をしたり、誰かと秘密の話をしたり…。
孤独の時間は心を育む時間ですね。

つつち〜

「大人のじかんと子どものじかん」

大人のじかんと子どものじかん
感じている時間はきとちがう

トンカチでくぎをうつ
まがる、ぬいて やり直す
子どものじかん トコトコトントン まーだだよ

大人のじかんは見守り時間
じりじり ゆったり …もういいかい?

小さなくぎと トンカチと たくさんのじかん
明日はどんなじかんとをたのしむのかな

ゆっきー



おかやま プレパークについて

PLAYPARK

プレパークは1943年にデンマークで誕生した子どものための遊び場です。

日本では、1979年に行政と市民による協働運営で世田谷区の国際児童年記念事業として「羽根木プレパーク」が誕生しました。現在、日本では400以上の地域でプレパークの活動が行われています。

おかやまプレパークは、子どもたちが日常的に自由に遊べる場を目指して、2008年にこどもの森で常設開催を始めました。

おかやまプレパークは大人が決めたプログラムではなく、子どもの「やってみたい!」を大切にしている遊び場です。自分らしく居られる居場所にもなっています。

プレパークでは仲間と遊んだり、しゃべったり、時にはばーっとしたり、自分の今を自分で選択して過ごしています。出会いがあり、時にはケンカもあるけれど、無我夢中で遊んだ記憶は生きた証になります。

子どもが自由に居られる場を市民、行政など、様々な方と一緒につくりたいと考えています。

2019年度をふり返って

2019年度ものんびりと楽しく過ごせたプレパークでした。子どもたちの間でどんな遊びが流行っていたか思い出してみると、一番は変幻自在の土遊び! 泥団子にもなれば、自分が入れるベツにもなる。また、新たに中学生手作りの卓球台もできました。子どもから大人までみんなが使って遊んでいました。各々が時間に縛られることなく自由にのんびりと過ごすことができました。

また、学生のボランティア参加が昨年度の約2倍(205人)ありました。保護者からは「学生さんが遊んでくれて助かった」という声があり、子どもたちにとっても、保護者にとっても大切な存在となりました。

おかやまプレパークを12年間続けてきたことで、小さかった子どもは高校生になり、たまに遊び場に来て、現状報告をしてくれます。また、以前なら片づけの時間になると「じゃーねー!!」と言っていた子どもが、今では、「片づけ手伝おうか?」というやや、手慣れた感じで片づけてくれています。

多様な方々への感謝とともに、日々の積み重ねを実感した一年でした。

2019

年間行事

EVENT

春 夏 秋 冬



森であそぼ!

対象:乳幼児親子 開催日:第2木曜日(11:00~)
年間38回開催

ベーゴマ大会 毎月1回開催 年12回開催

カレーをたべよう 毎月1回開催 年12回開催

牛乳パックカーづくり 不定期 年4回開催

誕生祭

そうめん流し

お月見会

クリスマス会

おもちつき

鬼フェス(節分祭)

4月21日(日)

8月 4日(日)

10月12日(土)雨天中止

12月22日(日)

1月12日(日)

2月 2日(日)

普及事業

PROMOTION

岡山市プレーパーク普及事業

「子どもの遊ぶ声が聞こえる地域づくり」を目指し、市内4か所の地域で、プレーリーダーの養成およびプレーパークの開催を、地域の方々と協働で実施しました。

◆プレーパークの開催と参加者数

築港ひかり町第一公園	11月2日(土)	194人
瀬戸町総合運動公園	11月4日(月・祝)	168人
吉備の中山	11月10日(日)	245人
亀山城趾	12月8日(日)	122人

◆プレーパーク体験会

東畦第一公園(実施団体: 東畦おやこクラブひまわり会)	10月15日(火)	60人
大元中央公園(実施団体: 大元地区おやこクラブなかよし会)	10月29日(火) 雨天中止	
内尾西遊園地(実施団体: 興除・曾根地区おやこクラブ)	11月5日(火)	30人
岡山ふれあいセンター(実施団体: 中区おやこクラブなかよし会)	2020年1月26日(日)	138人

◆研修会

基礎研修会	6月9日(日)	56人
全体研修会	2020年2月11日(日)	74人



緑の遊び場プロジェクト

公園のもつ様々な魅力を発見し、これからの公園のあり方、関わり方を再考する機会として、まちなかの公園で自然に触れ、人と関わりながら子どもが主体的に遊ぶことのできる場づくりを行いました。特に、今年度は、ホコテン開催に合わせて、道路を使った遊び場づくり「道に絵を描こう」にも挑戦しました。

西川緑道公園 6月23日(日) 参加者: 約250人
(ホコテン!の参加者は4,400人)

西川緑道公園 7月21日(日) 参加者: 245人

野田屋町公園 10月13日(土) 参加者: 194人

外遊び展(岡山市役所1F市民ホール) 8月8日(木)~9日(金)
参加者: 114人



出張プレーパーク

庄内小学校	9月30日(月)	107人
〃	10月7日(月)	48人
上南公民館	2020年2月9日(日)	53人
中国短期大学	2020年3月1日(日)	中止

